

【国頭村】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末とクラウドツールを有効に活用することで、児童生徒一人ひとりの学びを個別に最適化し、協働的な学びを推進します。これにより、教師の負担を軽減しつつ、学習履歴(スタディ・ログ)や健康診断情報等のデータを活用し、特別支援教育にも対応可能な教育環境を整備します。また、デジタルとアナログの利点を組み合わせ、二項対立に陥らないよう注意しながら教育 DX を進めます。

2. GIGA 第1期の総括

GIGA 第1期では、1人1台の端末整備とネットワーク環境が整い、デジタル教材により ICT 活用が進展しました。令和2年度には端末整備が完了し、高学年での調べ学習や Google ツールによる協働学習が一般化し、家庭学習にも Web 学習ソフトが用いられました。しかし、教職員のスキルにばらつきが見られ、ICT の効果的活用が課題でした。GIGA 第2期では、予備機整備や ICT 支援員活用による研修を強化し、質の向上を図ります。これにより、より良い学びの環境が期待されています。

3. 1人1台端末の利活用方策

児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き整備・更新し、継続的な利活用を図ります。これには、以下の3つの観点からの取り組みを含みます。

(1) ICT 支援員による効果的な利活用の方策

ICT 支援員を活用し、教職員が端末を効果的に使用できるよう支援します。授業での技術サポートやデジタルツールの選定、利活用方法についてアドバイスを提供し、情報交換を促進します。

(2) 個別最適・協働的学びの推進

デジタル教材を用いて児童生徒が自分のペースで学べる環境を整備します。電子黒板やクラウドツールを活用し、視覚的理解を深め、協働学習を促進します。

(3) 学習の多様性と特別支援への取り組み

不登校や日本語指導が必要な児童生徒、障害のある児童生徒に対する支援を強化します。端末とデジタル教材を用いて個別学習を支援し、合理的配慮により教育の質を向上させます。